



11月10日～12月10日に、本校では校内人権月間を実施しました。みんなが楽しく学校生活を送れるように、かしわば五心ぬりえ(学級で決めた目標に取り組み、がんばれた日に色塗りをする)や人権集会に取り組みました。遅くなりましたが、お知らせいたします。

【人権月間のめあて】

- 1年 1組 : 1日5人の人を、たすけたり てつだったりする。
 - 1年 2組 : 1日1かいは、「ありがとう。」という。
 - 2年 1組 : 人が話すとき、つまさきとへそをむける。
 - 2年 2組 : 友だちにやさしいことばで話そう。
 - 2年 3組 : 自分からあいさつをする。友達を元気づけることばかけをする。
 - 3年 1組 : だれにでもやさしくしよう。
 - 3年 2組 : 友達の話、目と耳と心で聞こう。
 - 3年 3組 : あだな・よびすてをしない。1日に10回、くんとさんをつけてよぶ。
 - 4年 1組 : 男女関係なく、話したり接したりする。
 - 4年 2組 : 発表したときに、「え～」と言わない。
 - 5年 1組 : ほめほめりレーで、人のいいところを2回以上言う。
 - 5年 2組 : よびすてをしない。
 - 6年 1組 : くんやさんをつけてよぶ。
 - 6年 2組 : ふわふわ言葉を増やそう。
- なかよし1組: ふわふわ言葉を使って、友だちも自分もえがおになろう。
- なかよし2組: ともだちにやさしい言葉かけをする。
- なかよし3組: みんなのために、スリッパをならべる。



【人権集会】

- 3年生 : ①人権月間のめあてと振り返り(各学級から)
②各学級のいいところ(担任から)
③仲間づくりゲーム(猛獣狩りに行こうよ、ふわふわ言葉しりとり)
- 4年生 : ①2学期の振り返り(いいところと改善点)
②こんな時何て言う?(相手を大切にした声かけ)
- 5年生 : ①「人権」とは何か?(みんなで考える)
②水俣に学ぶ肥後っ子教室に向けて(どのような言動をするべきなのか)
③差別についての講話(中田主幹教諭)
- 6年生 : ①「人権」の意味の確認、世界人権宣言と世界人権デーの紹介
②6年生の課題を全員で考える
使ったらいけない言葉、増やしたい言葉の決定→「やさしい関わり」へ
③タブレットの使い方確認
- なかよし学級 : ①人権月間の振り返り発表
②なかよしジャンケン(ジャンケンをした人と名刺交換、よいところを紹介)
③手話についての講話(深浦教諭)とビデオ視聴

【思いやりのある行動の紹介】

- ♡家族のことを心配して不安になっている友達に、温かい心のこもったお手紙を届け、友達を元気づけることができました。
- ♡友達に、ぞうきんのしぼり方を優しく教えていました。
- ♡トイレに、トイレトペーパーの切れ端が落ちているのに気づくと、進んで何度も拾って捨てていました。
- ♡友達が早退することが分かると、昼休みの遊びをやめて、友達の帰りの準備を自分から手伝っていました。
- ♡「『先生、おはようございます。』と毎日必ず笑顔であいさつをしています。とても気持ちがよく、嬉しいです。」と、担任以外の先生からほめられました。
- ♡意見交流の時間に、ふだんあまり話をしていない友達や困っている友達のところへも行くようになりました。
- ♡体育の時間に、ボールをあまり蹴ったことのない友達とペアになり、「ゆっくりでもだいじょうぶだよ。」と優しく声をかけて教えていました。
- ♡帰りの会の時間に、嬉しかったことをたくさん紹介しています。がんばっていた人にシールをあげている係もあります。みんな積極的に取り組んでいます。
- ♡友達が給食をこぼしたときに、片付けるのを進んで手伝っていました。
- ♡図工の時間に、工作が終わった後、自分からほうきを持ってきて掃除をしていました。
- ♡大縄跳びの跳ぶタイミングを「今。」と教えたり、失敗した友達に優しく声をかけたりしていました。
- ♡友達が絵の具用の筆洗いの水をこぼして床がぬれてしまったときに、率先してぞうきんを持ってきて拭いていました。
- ♡「くん」「さん」をつけないで友達を呼んでいる人に優しく教えると、言い直していました。
- ♡配り物をもらったときに、相手が先生でも友達でもペコッとおじぎをしています。
- ♡来年の1年生が学校見学に来たときに、「先にいいよ。」や「分からないことがあったら聞いてね。」と、とても優しく声をかけていました。
- ♡国語の授業で困っている人に優しく声をかけ、思いやりのある学び合いをしていました。
- ♡自分がトイレに行った後は、みんなのために、スリッパが並んでいるか確認し、並んでいなかったら並べていました。

「友達にしてもらって嬉しかった。」「自分のしたいことを途中でやめてでも、友達を気遣っていた。」「いつでも、どこでも、だれとでも、なかよくできるようにがんばっている。」「みんなのためになることを、人が見ていないところでもやっていた。」という報告をたくさん聞くことができました。さりげない優しさに、私たち職員も心が温かくなります。

3学期も、相手を嬉しい気持ちにする言葉を使ったり、身近な誰かのためになることを考えて行動したりして、本渡南小学校が優しさいっぱい为学校になるように、みんなががんばっていきたいです。

人権擁護員さんが、「種をまこう」という冊子を持ってきてくださいました。すてきなお話が載っていたので、その一部を掲載します。どうぞ、ご家族でご一読ください。

いっしょに遊ぼう

昼休みです。運動場はとてにぎやかです。

「おにごっこしようよ。」

こうちゃんたちは、とび出していきました。

「おにごっこしたい人、もっといないかな。」

「そうだね。だれかさそおうよ。」

「ねえ、ぶらんこであそんでいる

けんちゃんを、さそおうよ。」

「いや、やめたほうがいいよ。」

「どうして。」

「だってさ、けんちゃんは走るのがおそいから。」

「そうだよ。おそいとすぐつかまるからね。」

「おもしろくないよ。」

こうちゃんは、まよっています。



（ぼくは入れてあげたいなあ

でもおもしろくないかもしれないし）

その時、それまでだまっていたかずよちゃんが、
小さな声で言いました。

「わたしは、入れてあげたいな。」

みんなはびっくりして、かずよちゃんの方を見ました。

「あのね。この間、わたしがひとりぼっちでいた時に、
けんちゃんが『あそぼう』って、
さそってくれたの。とてもうれしかったもの……」

「けんちゃん、こっちにおいでよ。」

けんちゃんは、びっくりしています。

「はやく、はやく。いっしょにあそぼうよ。」

みんなは、元気いっぱい走り出しました。

